

第30回 麟閣移築記念茶会

二人の恩人にささげる



浦生氏郷



千少庵

鶴ヶ城大茶会

令和元年

10月20日

時間 午前10時〜午後3時

場所 鶴ヶ城本丸・茶室麟閣

席料 お一人様 500円

戊辰戦争後、茶室麟閣は天守閣などが破却の憂き目にあう中、市内の森川家に移築され大切に保存されてきました。

以来120年にわたり保存された麟閣は、平成2年会津若松市が市制90周年を迎えることを記念し、鶴ヶ城の元の場所へ移築復元されました。

この移築復元を記念して鶴ヶ城大茶会は会津最大のお茶会として行われ県内外から多くの観光客が訪れる茶会として開催されています。



参加流派

- 大日本茶道学会会津若松支部
- 茶道石州流宗家会津支部
- 表千家同門会福島県支部会津方部
- (一社)茶道裏千家淡交会会津支部
- 石州流茶道宗家福島県支部

主催 鶴ヶ城大茶会実行委員会

共催 会津若松市 (一財)会津若松観光ビューロー

後援 会津若松市教育委員会

お問い合わせ 鶴ヶ城大茶会実行委員会 [(一財)会津若松観光ビューロー内] TEL 0242-27-4005

令和元年度 鶴ヶ城大茶会

大日本茶道学会 会津若松支部

大日本茶道学会では、茶道は、日本の生活に根ざした文化であり、作法とは、他人や物に対する心遣いが自然とかたちになったものです。

所作とは、その心遣いを洗練された動作で表現することです。前日中仙翁会長女子の仙翁棚の点前で一服おもてなしさせていただきます。どうぞ、お立ち寄りください。

茶道石州流宗家会津支部

会津松平家藩祖「保科正之公」は、石州流の流祖「片桐石州公」に茶の湯を学ばれました。

その縁により、ここ会津の地には石州流が代々受け継がれてきております。

年号も改まり、30回目を迎えた今年の茶会も、野趣味あふれるつり釜点前にて、秋のひとつときをお過ごしください。

表千家同門会 福島県支部会津方部

表千家では、千利休の建てた茶室不審庵を代々宗匠の通称として受け継がれています。

利休の自刃後、子の少庵は鶴ヶ城主蒲生氏郷にかくまわれ、その後、家康と氏郷の尽力により、千家再興し、現在に致っております。

歴史を感じながら、一服のお茶、お楽しみ下さいませ。

(一社)茶道裏千家淡交会 会津支部

私共の茶道裏千家今日庵と淡交会総本部は京都にあり、利休居士から16代の坐忘齋家元を中心として国内と海外に数多くの支部や道場があります。

会津支部では鶴ヶ城大茶会でおいしいお茶とお菓子をご用意し、一期一会のおもてなしをいたします。どうぞご来席をお待ちしております。

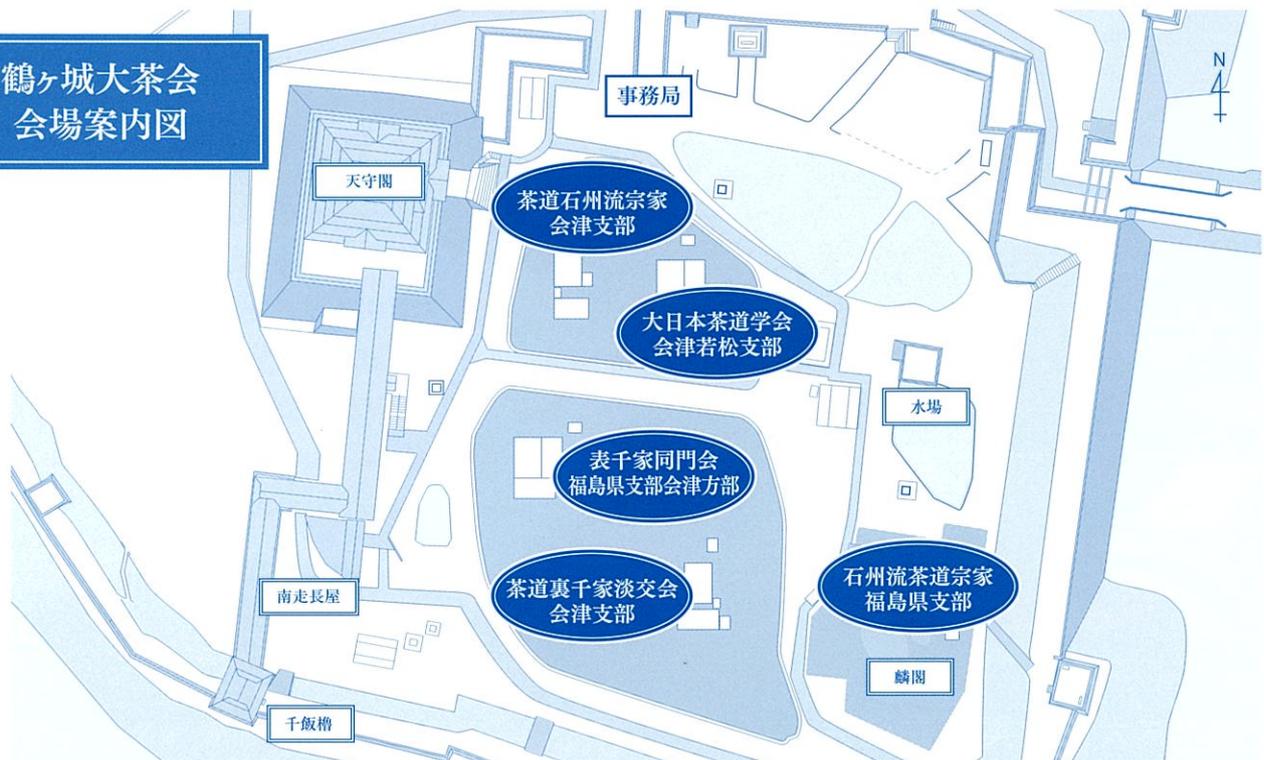
石州流茶道宗家 福島県支部

徳川4代将軍家綱の茶道指南役となったことで幕府の茶道として、代々受け継がれてきました。

武家茶の作法を今に伝える武者点での茶席で、麟閣の庭園での風情も味わいながら「馬上杯」による一服をお楽しみ下さい。



鶴ヶ城大茶会 会場案内図



鶴ヶ城大茶会実行委員会